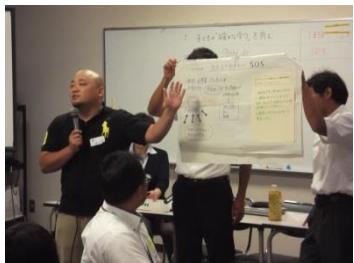


教職員ワークショップの報告

第3回教職員ワークショップが開催されました！

第3回教職員ワークショップは、8月25日に泉大津市教育支援センターで開催し、総勢44名が参加しました。

教育現場の解決策のアイデア出しをテーマとした第2



回目に引き続き、第3回目ワークショップのテーマは、「教員・学校ができるプロジェクトの企画」でした。第1、2回の議論で明らかになった5つの課題をテーマとし、実際の行動に向けた企画作りをしました。



教職員のみなさんから次の意見がありました。

テーマ	プロジェクト名	内容
子どもたちの「確かな学力」を育む	授業指導つながりプロジェクト	一貫したルールのもと授業や指導を進める学校体制作り 例)「授業リーダー」となる役割の教員を配置、教材研究などを行う「授業プラン」の時間を設ける。
	「楽習」充実プロジェクト	・学校の中で共有できるものや枠組みを見る化し、共有する ・市全体で総合的に考える
教職員の多忙化	先生お助けSOS	・教材や指導案、パワーポイントなどを共有できるシステムの導入 ・データを蓄積し、市内の教員が誰でもアクセスできるようにする
教職員の連携・意思統一	保幼小中の連携	保幼小中を通して子どもの情報をデータ化 例) 小学校での子どもどうしの関係（個人資料）や行事の記録
地域・家庭とのつながり	泉大津おっちゃんず	・学校主体から始め、PTAを中心としたチームを構成していく ・「子どもの遊び場」を作り、やる気のある教員が他の人を巻き込んで作り上げる ・地域連携担当が地域の人と教員・地域の人と子どもをつなげる
	学校サポート人材バンクプロジェクト	・卒業生人材の情報を集約し、登録しておく人材バンクの設置。人材バンクを窓口として、授業やクラブ活動へ地域の人の参加を促す。 ・地域の人のニーズやできることを把握
児童・生徒理解	TSUNAGARU	・教員どうしの情報交換を増やす、校内研修、データの共有化 ・校種間の人材交流でネットワークの構成
	子ども携帯ゼロ！！プロジェクト	・各学校で保護者への説明会を開催 ・条例化する ・公衆電話・電波時計を増やす